

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

七月に入り、強い日差しはすっかり夏。日差しや暑さ対策、夏バテ防止等に忙しく、気を抜けない季節ですが、この時季にもうひとつ重要な、夏のお肌の乾燥対策も忘れずに、しっかりお手入れしましょう。

夏の乾燥肌 お見逃しなく

夏場は、お肌がベタつく事が多くなりますが、汗や油分でベタついて、お肌が湿っている様に見えるだけで、実はお肌の乾燥が進んでいる事も。お肌の感触が硬くなった様に感じたら、それはお肌の乾燥サインです。水分が不足してお肌が乾燥して来



ると、弾力がなくなって硬く、くすんだ肌色になってきますから、朝晩のお手入れの際等、お肌の状態や肌色のチェックをお忘れなく。

かくれ乾燥と 夏肌トラブル

冬場の乾燥とは違って、夏のお肌の乾燥は「かくれ乾燥」ですから、肌表面は皮脂の油分でベタついてい

ても、気付かない内に乾燥が進んで、お肌に深刻なダメージを与えてしまいます。

特に、冷房の効いた室内で汗が引く時等は、お肌の乾燥が進みます。また、汗の塩分や、汗を拭く等の摩擦がお肌には刺激となり、肌トラブルの原因となってしまうからご注意ください。

夏のお肌を トラブルから守る

今の季節は、強い日差しに紫外線対策が気になって、他のお手入れはつい疎かになりがちです。ストレスの多い夏の素肌。気付いた時にはくすんでゴワゴワ、たるみやシワが・・・という事の無い様、もう一度、夏のお手入れを見直してみましよう。

夏の隠れた乾燥肌にご用心！

夏の素肌を健やかに保つために必要な事は、夏の三大肌ストレス、刺激・乾燥・紫外線をきちんと防ぐ事。中でも「かくれ乾燥」には要注意です。気付かぬ内に、夏のお肌はどんどん乾いていつてしまいますから、保湿のお手入れをお忘れなく。

◆夏の三大肌ストレス

◆刺激

夏のお肌の三大ストレスは、紫外線・刺激・乾燥。

汗をかく事が増えると、汗を拭く肌への刺激や、汗の蒸発後の乾燥と共に、お肌に残った汗の塩分が、肌へ刺激となります。

夏場は洗顔回数が増えますから、回数が増えた分、刺激の無い様に優しくそっと洗顔しましょう。↘

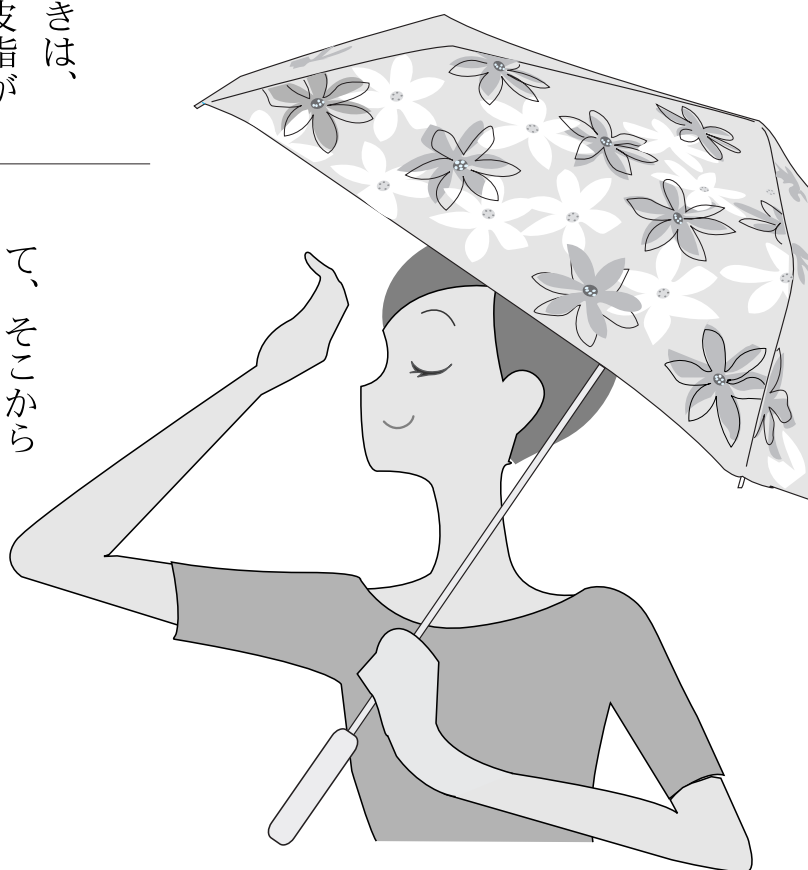
◆乾燥

夏のお肌のベタつきは、汗の塩分や余分な皮脂が

原因。しかし、その裏でお肌の水分量はどんどん低下しています。

ベタつきを気にして、お手入れを化粧水だけで済ませてしまったら、水分が汗の蒸発と一緒に奪われてしまいます。きちんとホホバでお肌に保湿のベールを。

また、汗をかいて湿ったお肌は、汗を拭く刺激でも角質層が傷つい ↘

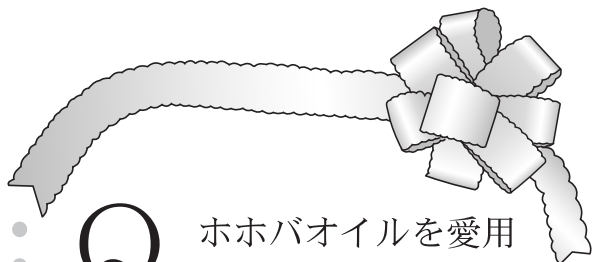


て、そこから水分がどんどん逃げてしまいます。その結果、ゴワついて弾力を失い、たるみが出たり、くすんだお肌に。汗はそっと押さえ、お肌をこする事は厳禁です。

◆紫外線

強い日差しがジリジリとお肌を襲うこの季節は、

UVカットをしつかりつけていても、熱気でお肌が火照ってしまいます。↗



Q ホホバオイルを愛用しています。

ホホバをすすめてくれた義母が、クレンジングオイルも良いよ、とプレゼントしてくれたので、使ってみようと思っています。

使い方ですが、義母はクレンジングで顔をマッサージして、その後コットンで拭き取っていると言っていました。それで良いでしょうか？



A お問い合わせありがとうございます。

ご質問のホホバクレンジングオイルは、拭き取りではなく洗い流すタイプですので、クレンジングオイルをたっぷりと手に取り、お顔全体をクルクルと螺旋を描く様にマッサージし(60~90秒程度)その後は、しっかりとすすいでください。

その後はホホバ石鹸でのW洗顔をおススメします。

◆手・足・お体の乾燥も

夏は薄着になり、手足やお体も

日傘等で直射日光を避けましょう。また、日陰や室内でも、きちんとUVカットを使い、光老化を防ぐ事が大切です。夜のお手入れは、クレンジングを使ってお肌を刺激しない様に優しく落とし、たっぷりの泡でお肌を包む様にW洗顔をお忘れなく。



外気に触れ、紫外線を浴びる事が増えてきます。汗で湿った状態にいる事が増えるので、ちょっとした刺激でも、すり傷になつて

しまつたり、肌トラブルが起こりやすくなります。

そのままにしておくと、痕やシミになつてしまう事もありますから、

ホホバでお手入れをおススメします。

また、皮脂の少ないむこうずね・かかとの角質化や、ひじやひざの黒ずみ等にも、保湿のお手入れをお忘れなく。

お風呂上りやお休み前に、しっかりと水分補給して、ホホバをのばしておきましょう。